

総合的な学習の時間学習指導案

単元名「ともに手を取りあって～未来のケアを考えよう～」

〔探究課題：思いをもって困難を抱える人たちに寄り添おう〕

人権教育 重要課題 (4) 障害のある人たち

令和7年12月10日(水) 第5校時 会議室

I 単元の構想

1 単元の目標及び児童の実態

単元の目標	福祉について調べたり体験したりして、ケアが必要な人たちに役立つ器具を考え、提案することを通して、日常的に困難を抱えている人たちへの思いや願いを理解し、だれもが暮らしやすい生活について自分なりの考えを持つとともに、自分たちができることを見付けて行動することができるようにする。		
児童の実態	知識及び技能	思考力、判断力、表現力等	学びに向かう力、人間性等
	(削除)	(削除)	(削除)

2 評価規準

観点	知識及び技能	思考力、判断力、表現力等	主体的に学習に取り組む態度
評価規準	①日常的に困難を抱えている人たちの思いや困難を解決するために工夫がされていることを理解している。 ②困難を抱える人だけでなく、だれもが暮らしやすい社会にする大切さを理解している。 ③体験や調べ学習を通して、分かったことを図や文章等自分に合った方法でまとめる方法を身に付けている。	①障害のある人たちの体験から困難を見付け、課題を設定し、解決の見通しを持っている。 ②困難を解決するために、調査する内容に応じた手段を選択して必要な情報を収集している。 ③収集した情報を比較し、自らの課題の解決に向けて、整理・分析をしている。 ④困難の解決に向けた自分の考えを、相手や目的を意識してまとめ、表現している。	① それぞれの人のよさや自分のよさに気付き、違いにも目を向けながら活動に進んで取り組もうとしている。 ② 友達のよさ、自分との違いに気付くと共に、違う考えのよさも取り入れながら、協働して学び合おうとしている。 ③ 自分にもできることがあることに気付き、だれもが暮らしやすい社会を目指し、自分事として関わりながら、困難の解決に取り組もうとしている。

3 人権教育とのかかわり

本学級の児童(男子〇名、女子〇名、合計〇名)は、全般的に明るく素直であり、係活動等の決められた仕事には責任感を持って一生懸命に取り組む姿勢が見られる。また、日常の生活場面においては、例えば、クラスで誰かが物をこぼした際にすぐに気づき、自発的に片付けを手伝うなど、困っている友達に寄り添い助けようとする優しさを持っている。一方で、係活動以外の場面では、自発的な行動が少なく受け身になりがちな側面もある。本単元でケアが必要な人たちの困難を解決する体験学習を行うことで、ケアが必要な人たちが生活の中でどんな困難を抱えているかに気付き、だれもが暮らしやすい環境づくりに取り組もうとする実践力を育むことができる。

また、1学期に「福祉」をテーマに、UD(ユニバーサルデザイン)バス、点字、盲導犬・補助犬等についてグループで調べ学習を行い、その成果を発表する学習を行った。この学習を通して、福祉に関する様々な事柄を知り、これまで以上に関心を高める様子がうかがえた。一方、調べた知識が、具体的な行動や「自分にできるこ

と」として日常生活と結び付いていない児童が多く見受けられた。そのほか、日常生活においては、自分の困り事を相手に伝えることはできても、相手の立場や状況を想像し、互いにどうしたらよいかを考えるまでには至っていない現状もある。本単元の学習で福祉の視点を自分事として捉え直すとともに、相手の立場を想像して課題解決する経験を繰り返すことで、ケアが必要な人たちの困難さを解決するために、他者の考えや情報を踏まえ、自分に何ができるかを考える判断力を育むことができる。

【育てたい能力・態度】

- 実践力：ケアが必要な人たちの困難さを解決する体験学習を通して、だれもが暮らしやすい環境づくりに取り組もうとする。
- 判断力：相手の立場を想像しながら課題解決する経験を繰り返すことで、他者の考えや情報を踏まえて自分ができることを考えることができる。

4 探究課題の価値

本単元では、探究課題として、「思いをもって困難さを抱える人たちに寄り添おう」とした。この課題を追究することで、実践的な学習を通して、相手の立場を想像し、自分にできることを考え行動する力や、身近な社会に自分事として関わっていく態度を育てることができると考えた。

そのため、本学習では、体験活動を多く取り入れる。実際に目や耳に障害を抱える人たちの立場になった体験をすることで、ケアが必要な人たちの困り感を理解することができる。実際に自分で感じた困難さを実生活で毎日感じながら生活している人がいることに目を向け、困難さの解決を目指す。また、個人での活動だけでなく、友達と協力して体験活動をすることで、仲間とともに学ぶことのよさやありがたさも感じることができる。また、本単元では、地元企業「ケアコム」の協力を得て、困難さを解決するための道具を考え、提案する活動を行う。これによって、子供たちは明確な目的意識を持って、困難さに寄り添った具体的な解決策を考えることができる。さらに、それをグループで行うことで仲間の考えを取り入れることや新しい発見をすることも経験し、自分本位ではなく、相手の立場に立った考え方も学んでいくことができる。

5 指導及び評価、ICT 活用の計画 (全45時間 (2, 3学期) : 本時第25時)

	時	学習活動	知	思	主
つかむ	1~6	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> 探究課題と出会い、単元の課題を把握する。 6時間 </div> <ul style="list-style-type: none"> ・ケアが必要な人たちに関わる方の話を聞く。(i)(ii) ・社会の中には、様々な人がいて、それぞれ困難さを抱えていることに気付く。 ・子供も大人も障害のある人もそれに携わる従事者にも目を向けて、誰もが暮らしやすい社会にしていくことが必要である。 	①		①
		<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> <単元の課題> 思いをもって困難さを抱える人たちに寄り添おう </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 単元名 ともに手を取りあって~未来のケアを考えよう~ </div>	②	①	
追究する①	7~25	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> 未来のケアを考え、発表原稿をグループで作る。19時間 </div> <p>【課題の設定】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・これまでに体験したこと、聞いたことから、身の回りの困難さに対して自分たちができることは何か、考えを持つ。 <p>【情報の収集】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・身の回りの困難さや工夫を実際に体験し、ケアが必要な人が普段困っていることや、その解決方法について情報を集める。(点字、アイマスク体験、車いす体験)(iii)(a) <p>【整理・分析】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・体験したこと、調べたことを整理し、自分たちにできることを考える。 ・探し出した困難さや解決の工夫を共有し、自分が感じたことを伝え合う。 	②	①	②
			③	③	③
				④	④

		<p>【まとめ・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> 自分たちができる未来のケアをグループで考え、提案にまとめる。(b) ケアコムへの発表を通して、新たな課題を得て、さらに自分たちができることを明確化していく。(i) (本時) 			
追究する②	26～35	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>「ケアコム」への発表を通して見つけた改善点を踏まえ、よりよい未来のケアを考える。 10時間</p> </div> <p>【課題の設定】</p> <ul style="list-style-type: none"> よりよい未来のケアについて、身の回りの困難さを抱える人たちにさらに寄り添った提案づくりについて課題を設定する。 <p>【情報の収集】</p> <ul style="list-style-type: none"> ケアコムへの発表でもらった助言や友達の気づきを基によりよい未来のケアを考える。(a) <p>【整理・分析】</p> <ul style="list-style-type: none"> 体験したこと、調べたことを整理し、自分たちができることを考える。 探し出した困難さ、工夫を共有し、自分が感じたことを伝え合う。 <p>【まとめ・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> 自分たちができることをグループで考え、形にする。(b) さらに自分たちができることを明確化したものを、再度ケアコムの方に発表する。(i) 	③	①	①
まとめる	35～45	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>単元全体の学習の振り返りをする。 10時間</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> 自分たちで考えた未来のケアを、地域の人や実際にケアが必要な人たちに提案する。(iii)(iv) 単元の学習で、「未来のケアを考える」ことを通して、自分の考えや社会への向き合い方がどのように変わったかを振り返り、友達と交流する。 	②	④	⑤

*活用するコンテンツ等：

(a) Yahoo!キッズ(総合-福祉) <https://kids.yahoo.co.jp/study/integrated/welfare/>

(b) Google スライド

*活用する人材等：

(i) 株式会社ケアコム

(ii) 社会福祉士

(iii) ○○社会福祉協議会

(iv) 日常生活に困難さを抱える方々

II 本時の学習（12／22）

1 ねらい

困難さを解決するために自分たちが考えた未来のケアについての道具をケアコムの方や友達に提案する活動を通して、ケアが必要な人たち一人一人の思いや困難さに寄り添ってまとめた自分の考えを伝え、自分事として、より確かにすることができる。

2 人権教育の視点

実践力：だれもが暮らしやすい環境づくりのために、自分たちがどんな思いで道具を考えたかを友達やケアコムの方に伝えている。

判断力：友達の発表を聞いたり、ケアコムの方の意見を聞いたりして、仲間の意見を取り入れ、新しい発見をし、自分たちの考えをよりよくしようとする。

3 展開

<p style="text-align: center;">主な学習活動 予想される児童の反応〔C〕</p>	<p style="text-align: center;">○指導上の留意点 ◆評価項目（観点）</p>
<p>1 前時の学習を振り返り、本時のめあてをつかむ。 (3分)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>〈めあて〉 思いをもって困難さを抱える人たちのケアを考えよう。</p> </div> <p>C：前回は、○班が「認知症の方に迷惑だと思わせたくない」という思いを持って、道具を考えていた。認知症の方の気持ちに寄り添っているところがよかった。</p>	<p>○困難さを解決したいというそれぞれの思いを具体的に思い起こせるように、前時の発表では、子供たちがどんな思いを持っていたか問い掛ける。</p> <p>○思いが伝わる発表を行えるように、前回の発表を踏まえ、今回発表するグループは、どんなことに気を付けて発表すればよいか問い掛ける。</p>
<p>2 未来のケアについての道具をケアコムの方や友達に提案する。 (30分)</p> <p>C(発表者)：わたしたちのグループは、「点字が分からなくても分かるようになってほしい」という思いをテーマにしました。そのために、「点字をしゃべる装置」を考えました。点字をカメラで撮影すると、音声で読み上げてくれる道具です。</p> <p>ケアコム：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ どうしてこの道具を考えようと思ったのかな。 ・ 点字をカメラが正確に読み取れるようにするには技術の工夫が必要かもしれないね。(助言) ・ 困難さを抱える人たちは、自分のできることは自分でやりたいと思っているかもしれないね。 ・ 何かを「してあげる」ものではなく、「助ける」ものを考えてみよう。 <p>C(聞き手)：考えた工夫が相手の気持ちに寄り添っていてよかった。</p> <p>C(聞き手)：カメラやスマホを持っていない子供が点字を読むのはどうすればいいかな。</p> <p>※聞き手側の児童は、ワークシート（※別紙参照）に、発表を聞いて思ったこと・考えたこと・意見等を書く。</p>	<p>○児童がどんな思いを持って、未来のケアを考えたいか伝えられるように、ポイントを整理して伝えられるようにする。</p> <p>○提案内容に対して多様な意見を得られるように、発表者⇄ケアコムのやり取りや、そこから聞き手の児童たちへのやり取りへと広がるようにする。</p> <div style="border: 2px dashed black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p style="text-align: center;">自分たちがどんな思いをもって考えたかを伝えている【実践力】</p> </div> <p>○聞き手の児童が発表者の思いや願いに寄り添って聞けるように、聞く視点を記入したワークシートを用意し、書き込みながら聞くよう促す。</p> <p>〈聞く視点〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ どんな思いや願いを持っているか。 ・ 思いを実現するために改善できそうなところはないか。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>◆評価項目（思④） 発表内容から、「困難さの解決に向けた自分の考えを、相手や目的を意識してまとめ、表現しているか。」を評価する。</p> </div>

3 本時の振り返りをする。(10分)

〈振り返り〉

C: ○○すると、もっとよくなることが分かりました。
次の発表では、○○したいと思います。

○提案をしたり聞いたりして気付いたことや変化した考えについてまとめられるよう、プリントに振り返りを書く時間を確保する。

○次の課題設定につながるように、友達の発表やケアコムの意見を聞いて、意見や考え方が変わったところを全体共有する。(感想が言えるだけでもよい。)

友達の発表を聞いたり、ケアコムの意見を聞いたりして、仲間の意見を取り入れ、新しい発見をし、自分たちの考えをよりよくしようとする。【判断力】